

第14回利賀ダム建設事業監理委員会審議結果

1. 日時：令和8年4月24日(金) 14:00～16:00

2. 場所：利賀ダム工事事務所 会議室 及び Web 会議
(一部Web による出席)

3. 審議結果：

○利賀ダム建設事業の概要について

- ・利賀ダム建設事業の概要、これまでの事業の進捗状況を報告。
- ・事業を巡る社会情勢等について説明し了承された。

○第13回委員会の審議結果について

- ・第13回委員会の審議結果について報告。
- ・前回委員会にて整理するよう求められた点について下記の通り報告。

① 押場地区深礎工設計では、地すべり対策技術設計実施要領により杭として設計している。地すべり鋼管杭設計要領に基づき、「くさび杭」として設計し、弾性体となるよう根入れ長を設定しており、深礎工から鋼管杭へ杭種変更となっても、同様に弾性体として設計を行っている。

また、頭部造成は必要ではないが、OBR23 ブロックとOBR45 ブロックの鋼管の間隔が離れていること、また、複数台の回転切削圧入工法機械を使用することから杭種が変更となっても仮栈橋が必要である。

② 地盤変動域は亀裂が多い斜面で、排土、深礎、アンカーによる対策に加えて吹き付け法砕工やロックボルトによる表面保護を計画していたが、最新の水中ドローンの活用により頭部目視点検が容易となることから、管理方法等総合的に検討した結果、「アンカー工のみ」へ工法変更することで、安定性とコスト縮減が図れることとなった。

また、この工法とすることにより、前回委員会時に説明したR5年5月にくさび崩壊が発生したことや水位変動等による表層崩壊への安全性を高めることができるようになると考えている。

○事業の実施状況等に関する事項について

- ・令和8年度の工事概要及び工事進捗状況について説明。
- ・本体基礎掘削、地盤変動域の掘削について、昨年末までの施工状況、押場地区貯水池斜面对策の抑止工について、栈橋の施工状況、利賀トンネルにおいて、2月3日に貫通したことについて報告。

【委員からの意見】

- ・意見なし。

○利賀ダム建設事業の事業費について

- ・事業費の変更内容、コスト縮減計画について説明。

【委員等からの意見】

「物価の変動など社会的要因の変化によるもの」、「自然災害に係る要因によるも

の」であるためやむをえない。

「現場条件の明確化による見直し」については、

- ・当初考えていたものと条件が変わってきたものでやむをえない。
- ・押場貯水池法面对策の工法変更も増額は大きいが最善の策であるとする。
- ・トンネルの地質条件の変更による増額は、現在の技術では想定ができないことからやむをえない。
- ・喜三郎谷建設発生土受入地については、百瀬川が氾濫した際の避難場所として活用も可能かと思う。地域の方の意見も聞きながら、避難盛土としての活用も検討してはどうか。
- ・工期については、細部では計画より進捗が遅れているが、R13 年度完成は変わらないということであり、今後事業の最盛期となることから安全に留意し、計画的に1日でも早く完成できるよう努めてほしい。
- ・事業費増の要因については理解したが、コスト縮減に努め総事業費を抑制していただきたい。
- ・今後も工程の変更や工法の見直し等により事業費の変更がある場合はその都度教えてほしい。
- ・工事が最盛期に入り、現場見学などが増えると思うが、しっかりとダム役割や効果をアピールしてほしい。
- ・現場条件の明確化による工法変更等は、一部に課題はあるものの概ね理解した。ただ、例えば「地盤変動域」では、多様な不連続面の存在や今でも変形が認められるなど、設計変更したアンカー工法に対して様々な不確実性が残る。このため、変更した工法の実施には、斜面変状などの予兆に十分留意し、その際には、速やかな適切な対応や対策を講じるなどして、安全性の確保に努めてほしい。また、今後とも工法変更や事業費の変更に対しては、本委員会を含めた十分な検討を進めるよう希望する。
- ・「地盤変動域」の工法変更に対して、逆に費用増加にならないか引き続き精査してほしい。
- ・人件費と資材費が変わるのであればコストが上がるのはやむをえない。ただ、多面的なB/C の観点ではダムに着手している途中で止めることが費用面、便益共に不利と考える。ダム完成後は、新たな視点での便益も考えられるため、ダムはこのまま完成させることが妥当と考える。
- ・現在暫定水利権により運用している工業用水について、早く利賀ダムを完成させ安定的で恒久的な水源を確保していただきたい。事業費の増大は工業用水の料金に跳ね返らざる負えないため、更なるコスト縮減をお願いし、総事業費の抑制に努めていただきたい。
- ・安全を優先にして事業を進めてほしい。
- ・大きな増額であるため、国民の皆様に誤解の無いよう、これまで以上に丁寧な説明を行ってほしい。
- ・これ以上事業費が膨らまないような努力をお願いしたい。

○まとめ

●本日示された利賀ダム建設事業の事業費変更（案）については妥当である。